

リュープロレリンで 子宮内膜症、子宮筋腫の治療を 受けられる方へ

監修

一般財団法人 倉敷成人病センター
婦人科 主任部長

安藤 正明 先生



リュープロレリンで 子宮内膜症、子宮筋腫の治療を 受けられる方へ

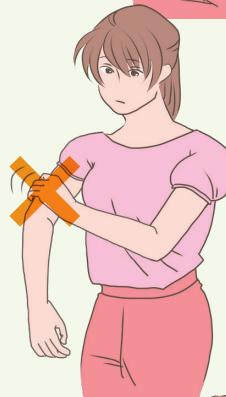
- 1 このお薬の効果は4週間つづきます。
必ず4週に1回投与を受けるようにしてください。



カレンダーやスケジュール帳に記載しておきましょう

投与日	次回投与日
月　　日	月　　日

- 2 投与部位をもまないようしてください。



- 3 初回注射のあと一時的に症状が悪くなったり、
不正出血がみられたりすることがあります。
これらは通常、治療を続けるうちに消失しますが、
出血がみられた場合、次回来院時に医師にお伝えください。
リュープロレリンによる治療中、月経周期を調節する
エストロゲンの低下により、生理は止まります。
治療終了後、ほとんどの方が生理は再開しますが、
再開までの期間には個人差があります。
一方、治療中に閉経を迎えた方では生理は再開しません。



裏面もご覧ください。

4 エストロゲンの低下により、
ほてり、頭痛、肩こり、むくみなどの
更年期症状があらわれることがあります。
このような場合は医師にご相談ください。



5 治療中は必ず避妊してください。
ピルなどのホルモン剤は、
リュープロレリンのはたらきに
影響する可能性がありますので、
避妊はそれ以外の方法で行いましょう。
将来、妊娠を希望される方は妊娠のタイミングを
医師とよく相談しておきましょう。



6 治療中、骨量の低下がみられることがあります。
予防のためにも、できるだけ毎日、散歩などの
適度な運動を行い、バランスの良い食事を心がけましょう。
牛乳、チーズ、小魚など、カルシウムの豊富な食材を
積極的にとるようにしてください。

気になることや不安なことがございましたら、
医師、看護師、薬剤師にご相談ください。



医療機関名

監修

一般財団法人 倉敷成人病センター

婦人科主任部長

安藤 正明 先生

 NIPRO

